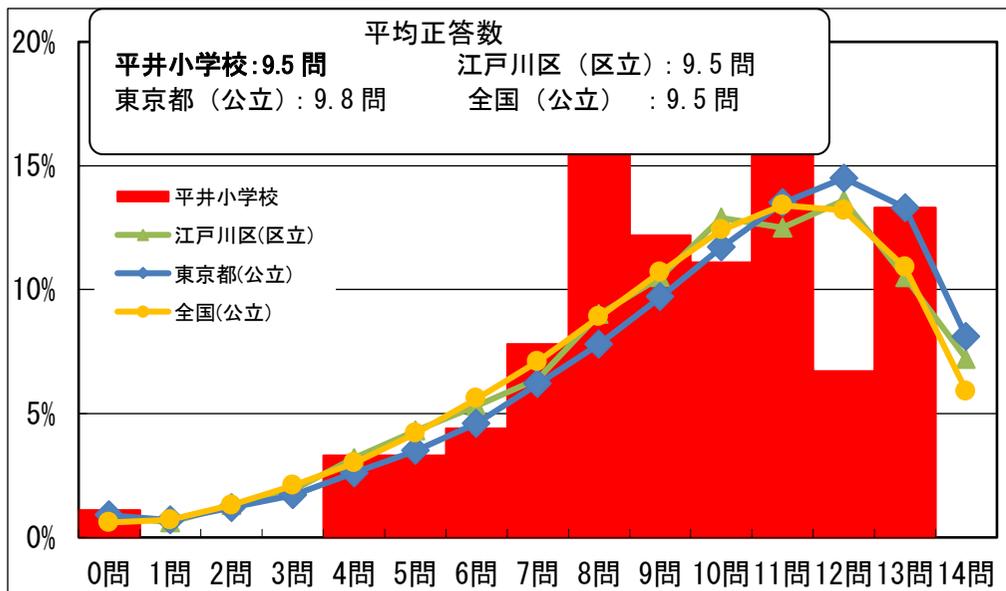


# 令和6年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【国語】平井小学校

## 正答数分布



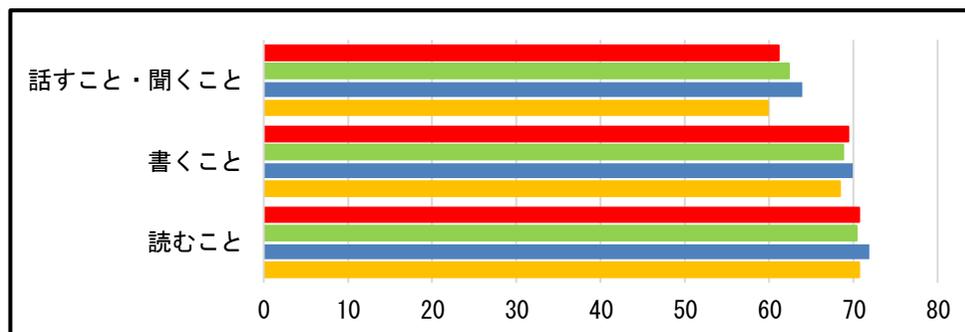
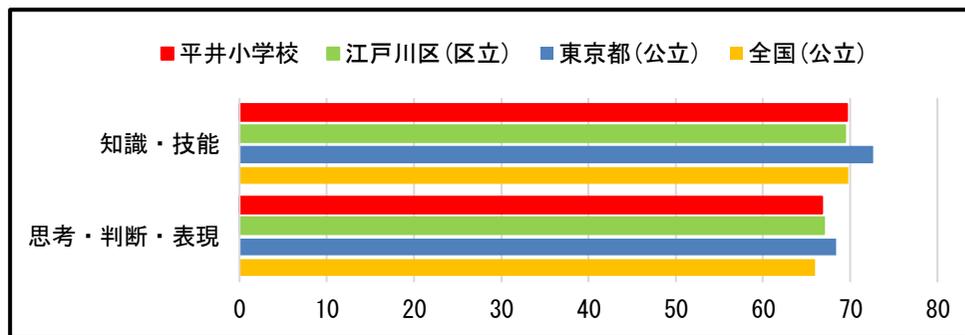
### <四分位における割合(都全体の四分位による)>

上位 ← → 下位

国語	A層 12~14問	B層 10~11問	C層 8~9問	D層 0~7問
平井小学校	24.4	26.7	28.9	19.9
江戸川区(区立)	31.3	25.4	19.5	23.8
東京都(公立)	35.9	25.2	17.5	21.4
全国(公立)	30.0	25.8	19.6	24.6

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。上の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。

## 「領域別」の結果



### 【平均正答率の差】

平井小学校	68%
江戸川区(区立)	68%
東京都(公立)	70%
全国(公立)	67.7%
都との差	-2ポイント

### 【分析結果と授業改善に向けて】

- ・苦手な領域として、「話すこと・聞くこと」における言葉の特徴や使い方に関する事項や我が国の言語文化に関する事項を問う問題が、区の平均を下回る結果となっている。引用や要約の違いについて丁寧に指導したり、正しい敬語をつかえるように普段の生活から意識させたりしたい。
- ・「読むこと」領域では、区の平均は上回っているものの、都の平均は下回っている。文章が何を伝えようとしているか適切に捉えられていないと考えられるので、読書をすすんで行き、よむ YOMU ワークシートなどで大事なことを落とさず読める力を身に付けさせたい。